

● 草の根国際交流のさらなる深化を!! ～すべては音吉から始まった～ 愛知県美浜町総務部企画課

美浜町とシンガポールの繋がり

美浜町は愛知県の知多半島南部に位置し、海と山のあ
る自然に囲まれ、名古屋から電車で50分、中部国際空
港に車で25分と、交通アクセスにも恵まれた町です。

本町とシンガポールとは、江戸時代末から深い絆があ
り、そのすべては「音吉」^{おときち}から始まりました。

音吉は本町出身の船乗りで、1832年に千石船「宝順
丸」で鳥羽から江戸に向かう途中、遠州灘^{えんしゅうなだ}で嵐に遭い、
14カ月にわたる漂流の後、アメリカ西海岸に漂着しま
した。音吉はアメリカとロンドンに上陸した初めての日
本人で、世界初の聖書和訳の協力や日英和親条約締結時
の通訳など、さまざまな功績を立てました。また、シン
ガポールに定住した初の日本人でもあります。

このように偉業を成し遂げた音吉も、日本の鎖国政策
により帰国することができず、シンガポールで波乱な生
涯の幕を閉じ、彼の功績を母国日本で知る人はいません
でした。

音吉の足跡を追っていく中で、本町はシンガポールと
の繋がりをさらに深めていき、2004年からは学校交流
をスタートするとともに、2005年には愛知万博1市
町村1国フレンドシップの相手国として、さまざまな
縁を結びました。

こうした音吉の繋がりから、2020年12月には本町
初の国際交流員（CIR）として、シンガポール出身のリ
ム・イーシェンさんを招へいしました。シンガポールと
の架け橋となり、さらなる友好関係を築く役割を担って
います。

国際交流員（CIR）の活動

① 異文化交流

CIRは町内の保育所や小中学校などに訪問し、シンガ
ポール文化や町との繋がりなどを紹介しています。子ど
もたちからは「シェン先生」と親しまれ、保育所では英



クイズでシンガポールを紹介



音吉の銅像



茶道体験

語で絵本の読み聞かせなどを行い、小中学校では英語の
クイズなどを交えて授業に参加しています。また、高校
生との交流では、グループディスカッションを行うなど、
相手の年齢や興味に合わせた内容に調整し、楽しく異文
化理解ができるよう工夫しています。

地域の行事などにも積極的に参加し、CIRが自ら企画
するイベントも行いました。高い日本語能力に加え、
シェンさんの親しみやすい人柄から、コミュニケーション
が取りやすく、ニーズに応じた交流を確実に実施でき
ると評判です。

② 情報発信

本町には、毎月発行している広報誌「広報みはま」が
あります。CIRも「Xuan's デイズ」というページを担当
し、シンガポールを身近に感じてもらうと毎月さまざ

まなテーマを設けて、シンガポールを紹介しています。

また、町の魅力を海外や町内外に発信するため、SNS (InstagramとFacebook) を活用して、日本語と英語で、町内飲食店、特産品、観光スポット、歴史文化、イベントなど、幅広い内容を投稿しています。

③ 翻訳・通訳業務

外国人住民への対応では、英語や中国語の通訳としても活躍しています。海外との交流の際にも、言語の面でスムーズな打合せや進行が可能となりました。また、町民向けのハザードマップやゴミの分別方法の情報、観光パンフレットなどの翻訳も行い、多文化共生からインバウンドまで、その能力は多方面に寄与しています。



国際交流員の Instagram

東京 2020 ホストタウン事業

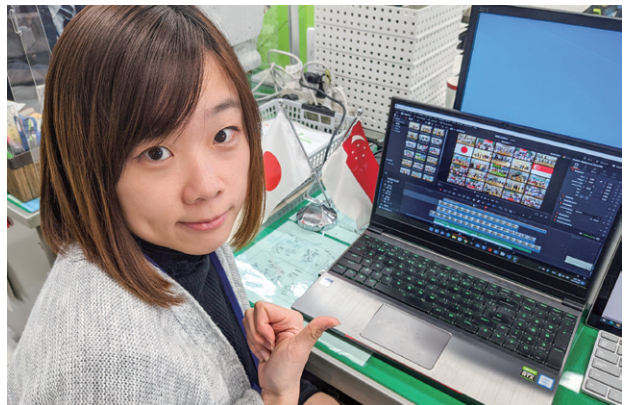
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、本町はシンガポールのホストタウンの1つとして登録され、シンガポール国立パラリンピック連盟とホストタウン交流に関する覚書を締結しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による大会延期、交流中止など厳しい状況が続きました。そんな時、コロナ禍でも可能な交流を模索し、CIRが応援動画の作成を提案してくれました。学校への協力依頼から、子どもたちへのシンガポール選手の紹介、動画の撮影・編集まで1人で担当し、大会前に完成した動画をシンガポールへ送りました。動画を見た選手たちからは「素晴

らしい動画に感動した」「離れていても応援の気持ちが伝わった」と喜びのメッセージをいただきました。

大会期間中には、選手の家族や友人と Zoom で繋がりながら一緒に応援し、大会後には、選手たちとオンラインで交流を行いました。

中学生との交流では、3名のパラリンピック選手に参加いただき、生徒は懸命に英語でコミュニケーションをとり、選手のスポーツに対する想いや、子どもたちに向けたメッセージをいただくなど、とても貴重な経験となりました。



応援動画作成の様子



シンガポールのパラリンピック選手とのオンライン交流

ご縁を大切に

美浜町には魅力的な資源が豊富にあります。海外にはもちろん、国内での知名度も高くありません。積極的に歴史や文化を吸収し、理解しようとする CIR の姿勢には、本町が国内外の多くの人々に認知されるよう、情報発信を続けていってくれることを期待しています。

本町初の国際人「音吉」から紡いできたご縁が、シンガポール出身の CIR にバトンタッチされ、本町とシンガポールのさらなる友好関係が築かれていく未来を確信しています。コロナ終息後には、CIRと一緒にシンガポールへ渡航し、現地の方々との交流ができることを楽しみにしています。